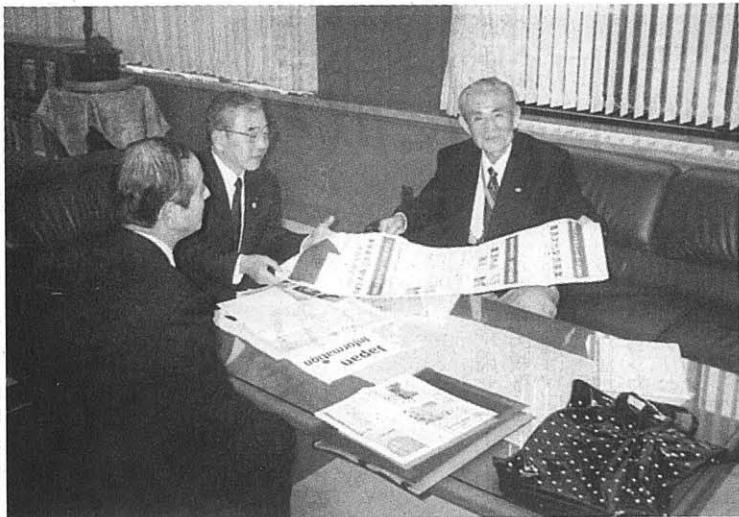


(第三種郵便物認可)

NYでの書道文化交流と
外国人弁論大会

持田勉さんら、知事に活動報告

この秋に、アメリカ・ニューヨークにおいて書道文化交流、出雲市においては外国人による弁論大会を開いた「島根と海外を結ぶ文化交流事業」実行委員会の持田勉会長らが二十六日、県庁を訪れ、溝口善兵衛知事に活動報告を行った。



資料を見ながら溝口知事(中)に報告をする持田さん(右)=28日、
松江市殿町、島根県庁知事室で

県庁知事室を訪れたのは、持田さんと、同実行委員会会計監査役の長瀬恭治さん。

同実行委員会は、九月十七日から二十一日までの間、「第一回しまねとアメリカニューヨークを結ぶ書道文化交流事業」を開

る日本総領事館広報センターのギャラリーに

おいて、県内の書道家や高校生による書道作品約百二十点を展示したほか、持田さん

による日本の書道文化に関する講演と実技指導も行われ、現地在住の日本人だけでなく、

地域の大学生や家族連れで盛況を博した。

ニューヨーク市と、世界貿易センタービル跡地に建設中のワールド・トレードセ

による書道作品の寄贈、老人介護施設への展示

作品の寄贈、現地の子どもたちとの交流な

どさまざまな場所で交流を図った。

十月二十四日には第一回神話博外国人によ

る「日本への提言」全

国弁論大会」を出雲市大社町のうらら館で開催。全国から応募、選

抜された外国人大学生や国際交流員らが、教

育や観光などの諸課題

の種がまかれたことを

これから今後の継続に對する支援の声も上がつ

てきており、文化交流

の種がまかれたことを

表し、感謝申し上げたい」と語り、謝意を伝えた。

持田さんは「この短い期間でこれだけの事業を行えたのは、自分でも信じられない。協力してくれた方々に感謝したい」と話す。「弁論大会は教育団体などから今後の継続に對する支援の声も上がつてきている」と述べた。

の日本総領事館広報センターのギャラリーに、好家や高校生による書道作品約百二十点を展示したほか、持田さんによる日本の書道文化に関する講演と実技指導も行われ、現地在住の日本人だけでなく、地域の大学生や家族連れで盛況を博した。ニューヨーク市と、世界貿易センタービル跡地に建設中のワールド・トレードセンターへの持田さん

や対策について論じた。

これらの報告を受けた溝口知事は「島根

県から発信されたこの二つの文化交流事業の成功に心から敬意を表し、感謝申し上げた」と語り、謝意を伝えた。